

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	1004	曜日時間	通年	
授業科目	小児看護学実習							
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習	
担当教員	上原 由加里							
授業目的	小児期の生活に機能障害が及ぼす影響を理解し、対象に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。							
授業の中核	すべての健康レベルの子どもの成熟過程を支える援助							
授業目標	<p>小児看護学実習Ⅰ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期にある健康な小児の日常生活を理解できる。 2. 小児の成長発達を個別的にとらえることができる。 3. その児の成長発達段階に応じた日常生活の援助を学ぶ。 4. 小児の健康維持や事故防止について理解できる。 <p>小児看護学実習Ⅱ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児外来の対象である児とその家族を理解できる。 2. 小児外来の看護活動の実際を理解できる。 3. 外来におけるチーム医療を理解できる。 <p>小児看護学実習Ⅲ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その児（者）が過ごす入院生活を理解できる。 2. 機能障害が成長・発達に及ぼす影響を理解し、日常生活を調整する看護の実際を学ぶ。 3. 人格を尊重した態度で対象と関わることができる。 4. 長期にわたる療養が家族生活に及ぼす影響を学ぶ。 5. 保健医療チームにおける看護の役割を理解できる。 6. 家族を中心とした地域連携を学ぶ。 							
授業の内容と方法	日	授業内容			授業方法	時間	担当	備考
	12日間	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習の留意点 ・小児期の生活、保育園実習について、病院実習について ・これからともに実習するグループで、臨地実習場について、教員あるいは前グループより情報を得る ・小児看護学での自分の実習目標を立案し、事前にどんなことを学習していくかなど計画を立てる 			講義グループワーク	(8)	上原由加里	事前学習も含めて問題意識をもつ
		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期にある健康な小児の日常生活を知る ・成長発達段階、小児の発達を個別的にとらえる ・発達段階に応じた日常生活援助を実施し振り返る ・健全な成長発達を促すための健康維持と事故防止について ・子供や家族を支えるための援助や学んだことなどについてカンファレンスを行う 			臨地実習	30	各担当教員	保育園
		<ul style="list-style-type: none"> ・小児外来に来院した児と家族への援助を見学する ・小児外来活動の実際を見学する ・外来におけるチーム医療、病棟との連携を申し送りなどで見学する ・NICUにおける看護の実際を見学する ・外来看護師の役割や学んだことなどカンファレンスをする 				30		外来
<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち児（者）の機能障害の特徴を理解する ・児（者）の機能障害の種類・程度、原因・病態、生活に及ぼす影響を知る ・受け持ち児（者）と家族の関わりを通して、成長発達を支える援助方法について学ぶ ・障害に応じたコミュニケーションを実施する ・自分の援助を振り返り、次に繋げる ・地域との連携、児や家族に関わるすべての職種との連携を見学する ・カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち児の看護内容について情報交換し理解を深める 			30	病棟				
終了後課題	受け持ち児に必要なレポート							
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価							
テキスト参考図書	小児看護学で既習したすべてのテキスト							
実務歴有	看護師：病院勤務 11年 看護教員：学校勤務 4年							
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する							
備考								